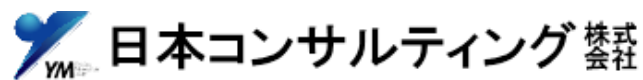


**やすらぎ保育園  
第三者評価  
平成28年度**

かながわ福祉サービス第三者評価



## 総評(評価結果についての講評)

### 【施設の概要】

横浜市営地下鉄ブルーライン阪東橋駅より徒歩7,8分程度のところに位置し、近所には有名なアーケード型の横浜橋商店街があり、活気づいた環境にあります。保育園はビル型で1階が0,1歳児、2階が2,3歳児、3階が4,5歳児と分かれています。

運営は明治23年創業の老舗、保険調剤を事業としている株式会社で、“患者様に安心してご利用いただける保険薬局”を方針に運営しており、保育園の名称“やすらぎ”も、子どもたちはもちろんのこと、保護者の皆様にとっても、安心して、“やすらぎの場”となる温かい保育園を目指すという方針の下、名づけられました。

園では3つの特色として、(1)近隣の医療クリニック等との連携、(2)子どもたちが楽しめる行事や活動の充実、(3)子どもの身体、心づくりを意識した保育、を掲げています。(1)近隣の医療クリニック等との連携では、医師や看護師、また母体の保険薬局とも連携して子どもの安全に努めています。(2)子どもたちが楽しめる行事や活動の充実では、毎月のお誕生日会や、季節ごとの行事、伝承遊び、縦割り活動、近隣への散歩を通して自然と触れ合い季節を感じ、地域の方々との触れ合いの中からも、様々な事を学んでいます。(3)子どもの身体、心づくりを意識した保育では、リズム遊び、運動あそび、散歩、絵本の読み聞かせ、製作活動、鑑賞会等で芸術に触れる機会を作っています。

子どもへの教育目標は、相手への思いやりを持つ事や、挨拶や感謝ができる人間になる、相手の気持ちが分かるようになるように育てる事等を掲げています。また、日常生活の中で子どもが自分自身でできることを尊重し認めることで、自立に向けた成長の過程を大切にしています。

### 【特に良いと思われる点】

#### 1. 生活リズムを整え、感染症対策を徹底し戸外遊びで体を作るなど健康づくりに取り組んでいます

「生活リズムを整え、感染症対策、病気の早期発見と早期対応、戸外で体を使って十分に遊び丈夫な体をつくる」等、年間保健計画を作成し、実践しています。常勤の看護師がおり、毎日園内の各保育室を頻繁に回り、一人一人の子ども様子を把握し、観察や声かけ、相談を受け処置をしています。看護師日誌には毎日の子どもの状況・対応などを漏れなく記載しています。日常的に保護者と保育士や看護師は連携し、健康診断の際にはぜんそくや熱性けいれん等の子どもの状況を看護師から医師に伝え、アドバイスを貰い保護者に伝えていきます。保育中に子どもが発症した場合は保育士が看護師と連携して保護者に連絡し迎えに来るまで事務所で看護師が対応しています。看護師や栄養士は会議や研修会に参加し、最新の感染症情報や対処法を学び、職員会議で周知を図っています。感染症対策研修として全職員参加の下に嘔吐処理マニュアル等を使い実践的なデモンストレーションを行い、処理の仕方やマニュアル確認を2回にわたり実施しています。子どもは、天気の良い日は散歩や戸外遊びを毎日行い健康な体づくりを行っています。

#### 2. 地域の各種イベントに参加したり、社会資源を活用し地域への理解を深めています

祭りの山車を引いたり、ハロウィンで商店街を訪問したり、老人ホームとのお楽しみ会や運動会、小学校との給食交流会や学校探検などが行われ、子どもの体験を豊かにしています。勤労感謝の日には、日頃お世話になる交番や消防署、商店街のお店屋さん手作りカレンダーを配っています。毎日公園や地区センターで遊ぶなど社会資源を活用しています。近隣の4保育園とはリレーやドッジボールを行い子ども同士の交流をしています。こうした園外で行う各種の活動は、地域コミュニティとのつながりを深め、子どもの社会性を高めています。

#### 3. 散歩や戸外活動を積極的に保育に取り入れています

園庭がありますが、園周辺には子どもの年齢・発達や、活動の目的に合った広場や公園が多く点在し、散歩や戸外活動を積極的に日々の保育に取り入れています。園は、0、1歳児クラス、2、3歳児クラス、4、5歳児クラスごとにオープンフロアでの保育のため、日常的に職員間で協力、連携しながら異年齢での合同散歩にも出かけています。1歳児クラスの子どもたちは、往復30分程の道のりの公園散歩もしっかりと歩きます。時に5歳児クラスはみなとみらい方面の赤レンガ倉庫や象の鼻パークへ遠出散歩にも出かけています。さらに子どもたちは地区センターのプレイルーム、消防署、区役所の屋上といった地域の公共施設に出かけ、地域を知る体験をしています。散歩の途中では、通りを往く人や地域の人々の生活を支える横浜橋商店街へ買い物途中の人など、気さくに声がかかります。子どもたちも元気なあいさつで答えています。

#### 【今後の取り組みが期待される点】

##### 1. 方針や受け入れ体制を整え、ボランティアの活動を受け入れることが期待されます

園開設4年目で、職員が一体となって子ども一人ひとりを尊重する保育に取り組んでいますが、ボランティアについては受け入れ経験がなく、体制整備も不十分といえます。園長始め職員は、今後ボランティアを受け入れていきたいと考えています。ボランティアへの基本的な考え方や方針を立て、受け入れの体制や仕組みを整え、ボランティアに活動してもらうことが期待されます。

##### 2. 保育所の専門性を生かし地域の子育て支援を応援することが期待されます

地域の子育て支援についての区の事業に対して協力し、園庭開放を行っています。また一昨年には一時保育も1名実施しています。このような活動を行っていますが、園としては受け身の対応状況です。保育所には、保育士・看護師・栄養士と子育てに係る専門家がいます。そうした園の専門性を生かし地域の子育てニーズに向けて積極的に取り組み、地域に貢献していくことが大切と思われれます。

##### 3. 保護者の意見・要望に対する丁寧なアプローチの継続が期待されます



玄関のご意見箱、懇談会、年度末アンケート、各クラス1～2名の代表保護者の参加を得た年に2回の運営委員会、保護者によって意見が分かれる内容についてのアンケート実施など、意見や要望を聞く機会を作り、把握に努めています。今回の第三者評価における保護者アンケートで満足度の高くない項目なども参考に、保護者の意見・要望に対し、対応できること、検討を要することなど示しながら、今後も丁寧なアプローチを続けられることが期待されます。

##### 4. 園の理念や方針を踏まえた人材育成の体制作りが期待されます

園の理念や方針を踏まえた保育を実施するための職員の経験・能力・習熟度に応じた期待水準の明文化及び、それに基づいた人材育成の計画は確認ができませんでした。個々の職員が自らの資質向上に向けた目標を定め、それに基づいた個別の評価や園長等との面談による達成度の客観的な評価や指導をしていく仕組み作りも併せ、今後の検討が期待されます。

# 評価と講評

## 評価領域 I 利用者本人(子ども本人)の尊重

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>I-1 保育方針の共通理解と保育課程等の作成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「子どもの人権や主体性を尊重した保育を行う」ほか子どもの最善の利益を主旨とした保育理念を掲げています。保育方針は「子どもたちが楽しめる行事や活動の充実に努める」ほか3項目を定め、保育目標を「成人奉仕(人になれ奉仕せよ)心身共に健全に育ち、周囲に気配りのできる子どもに育てよう」とし、いずれも利用者本人を尊重したものとなっています。理念・方針は開園当初の職員で思いを出し合い、園長がまとめています。</li> <li>・保育課程は、平成25年開園時に就労時間が長い保護者支援や地域の特性を考慮しながら作成後、平成26年度に園長と副園長で書式も変え作成し直し、今年度見直しをしています。子どもの最善の利益、保育理念、基本方針に基づいた保育をさらに実践につなげるために来年度は全職員で保育課程の見直しをすることを検討しています。取り組みが期待されます。</li> <li>・園では保護者に向けた入園説明会を個別に行っており、保育課程に基づいた計画の主旨を分かりやすく説明をしています。</li> <li>・保育課程に基づいた年間指導計画、月間指導計画、月のスケジュール(週日案)を作成しています。乳児クラスは個々の成長に合った保育が行えるように担任同士密に話し合っています。幼児クラスは子どもの成長や発想を翌月の計画に活かせるようにしています。</li> </ul>
<p>I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園前に、園長、副園長が親子の面接をしています。必要に応じて栄養士や看護師が加わっています。持参をお願いした児童票をコピーし、それを面接シートとし、聞き取ったこと、留意点など記入しています。新入園児の情報は職員会議で報告し、ファイルにまとめています。ファイルは事務に保管管理し、全職員が必要時に確認できるようになっています。</li> <li>・ならし保育については、個別の入園説明会で丁寧に説明し、保護者の希望や事情を考慮しながら2週間程度を目安に実施しています。ミルクの時間は、ならし保育期間に、園のリズムにも少しずつ慣れていくようにしています。1歳児クラスは、子どもが信頼関係を築けるよう緩やかな担当制をしいています。0~2歳児クラスは個別の連絡ノートがあり、園での生活、活動状況などが家庭に引き継がれるようにしています。幼児は必要に応じて連絡帳を使用しています。</li> <li>・在園児の進級時対応については、フリーの保育士が随時フォローに入っています。また、1歳児クラスは1階から2階に、3歳児クラスは2階から3階に保育室がかわるため、前年度の3月頃から遊びに行く機会を多くたり、午睡をしたりして、大きな環境変化に戸惑わないようにしています。</li> <li>・年間指導計画を基に、複数担任で月間指導計画を作成しています。一人担任のクラスは園長、副園長と相談しながら進めています。保護者とは、送迎時の会話・懇談会・アンケートなどから意向を把握し、評価や改訂に反映させるよう努めています。</li> </ul>

### I-3 快適な施設環境の確保



- ・清掃は、毎日、出勤した全職員で清掃手順書に従い行っています。職員同士確認をしながら清掃漏れの無いようにしており、園内外は清潔に保たれています。4、5歳児クラスが階段の掃除を手伝っています。室内環境を整えるため、エアコン、空気清浄機、加湿器、トイレの24時間換気、0、1歳児保育室は床暖房を設置をしています。温湿度は日誌とプレスチェック表に記録しています。
- ・沐浴、温水シャワーは、冬場など使用回数が少なくなると収納スペースとして使用しています。必要時には速やかに使用できる状態を保つことが期待されます。
- ・0、1歳児クラスはオープンフロアを低い柵で仕切り使用しています。衝立や敷物などでさらに空間を仕切り、小さなグループで遊べるようにしています。同じくオープンフロアの2、3歳児クラスを毎月の誕生会やゲームなど全園児で楽しむ交流の場としています。
- ・オープンフロアでの保育のため、音楽の音量や保育士の声など常に確認合っています。集中して製作をしたい時や楽器の練習をする時など担任同士相談をしながら、他クラスが散歩に出かけたり、カーテンを引いたりしています。

### I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力




- ・0～2歳児クラスは個別指導計画を作成しています。保護者には離乳食の進め方、午睡時間、トイレトレーニングなど、一人一人の成長過程の把握が必要な事項で説明し、同意を得ています。幼児で課題がある場合は、リーダー会議、職員会議(ケース会議含む)等で情報共有し、具体的な配慮や対応の仕方を話し合っていますが、個別の指導計画の作成には至っていません。書式の作成を含め、検討が期待されます。
- ・入園時に把握した生育歴や生活記録、入園後の成長発達記録などは児童票としてファイルしています。全園児3ヶ月ごとに経過記録をつけています。事務所のカギのかかる柵に保管管理し、必要時に職員は確認できるようになっています。園での進級時には、児童票のほか、申し送り表を作成し、新旧クラス担任間で引き継いでいます。


### I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み



- ・配慮が必要な子どもの様子については職員会議(ケース会議含む)で報告、話し合い、記録を残しています。必要に応じて園長、副園長が観察をしてアドバイスをしたり、配慮の仕方を話し合っています。
- ・園内はバリアフリー構造となっているほか、多目的トイレ、エレベーターを設置しています。今年度、障がいのある子どもの受け入れはありませんが、必要に応じて中部療育センターと連携を図り、助言や情報が得られる体制を整えています。職員も外部研修で障がい児保育について学んでいます。今後、受け入れる際は、障がいの特性を考慮した個別の指導計画書に基づいた援助が期待されます。
- ・虐待に関するマニュアルがあり、職員に虐待の定義とともに、情報を周知しています。疑わしい場合や、見守りが必要な場合には区のこども家庭支援課や中央児童相談所と連携を取りながら、共通認識を持つ体制があります。送迎時には何気ない会話から保護者が話しやすい雰囲気を作るようにするなど、家庭支援の必要な保護者の気持ちや心身の状況に寄り添いながら、援助ができるように心がけています。
- ・保育所における食物アレルギー対応マニュアルに基づいた対応をしています。除去食のある子どもには、給食室と担任の確認後、保育室の他職員との再確認をして提供しています。専用トレイに名前、食事にはラップをかけ、除去食材を明記して

	<p>います。おかわりの用意はありませんが、残しても良いように多めに盛り付けをしています。食事の際は職員が傍らにつき、見守っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域柄外国籍の子どもを多数(全園児中25%)受け入れています。外国籍の保護者と会話での意思疎通が困難な場合には、会話集の本を利用したり、漢字でのやりとりやゼスチャーで補ったりしています。日常の保育では、子どもたちは自然に過ごしています。関わりの中で日本語のできる子どもが通訳してくれる場面もあります。</li> </ul>
<p>I-6 苦情解決体制</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園への要望、苦情受付担当は設置法人の事務部長、解決責任者は園長となっています。第三者委員3名が決まっており、入園説明会で説明しているほか、玄関に「苦情解決関係表」の掲示があります。他機関の苦情解決窓口の紹介については、かながわ福祉サービス運営適正化委員会の電話番号を明記しています。</li> <li>・玄関のご意見箱、懇談会、年度末アンケート、各クラスの代表保護者1~2名と園側による年に2回の運営委員会、保護者によって意見が分かれる内容についてのアンケートなど、意見や要望を聞く機会を作っています。また送迎時の担任とのやりとりのほか、日常会話や普段の様子から意向を汲み取るように心がけています。</li> <li>・要望、苦情は、全体の申し送りノート、各クラスの申し送りファイルや職員会議などで全職員に周知し、迅速に解決できるようにしています。平成26年度からの「苦情・要望・意見」ファイルがありますが、具体的な対応や検討後、どのように改善に至ったのかなど記録し、今後活かしていく仕組み作りが期待されます。</li> </ul>

## 評価領域 II サービスの実施内容

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>II-1 保育内容[遊び]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度初めに各クラス年齢に応じた遊具を計画しています。保育士がマットや机を用意し落ち着いて遊べるスペースを作っています。発達の時期や季節に合わせてふさわしい遊具を出しています。0歳児はマット上で車やぬいぐるみなど好きなおもちゃを手でつかみ遊んでいます。2歳児は指先を使うもの、型はめパズルなどの玩具、3歳以上は各自のロッカー一籠に自由画帳やクレヨン、小麦粉粘土などの教材を用意してあります。朝と夕方は一斉活動をなくし、子どもが自由に遊び込める時間にしています。子どもが自由に取り出せる位置におもちゃを取りそろえる環境構成について工夫が必要と思われます。</li> <li>・夏祭りではお化け屋敷を子どもが想像を膨らませて廃材を使い自分たちで製作しました。運動会では子どもたちが話し合い、おみこしをお菓子風にするなど自由な発想を育てています。朝と夕方の時間は子どもが自由に遊ぶ時間としてままごとやおりがみ、ブロックなど好きな遊びをしています。日中の活動時間は、散歩や製作活動、水遊びなど一斉活動を行っています。ドッジボールや椅子取りゲームなどの一斉に行う活動は、友達関係やルールなどを守る社会性を重視した、年齢に応じた遊びとして取り組んでいます。</li> <li>・屋上では5歳児がプランターを用いて野菜の栽培活動を行っています。ミニトマト、オクラ、インゲンなど水やりを通して成長を観察しています。収穫の際には乳児</li> </ul>

も含めて他クラスも関わり、喜びを分かち合いました。夏には、カブトムシを飼育し、当番を決め餌や水をやり成長を観察しましたが、死を経験し、公園に埋め生命の短さを感じていました。ヒマワリを植え、園玄関外に置いて保護者や通行する地域の人を楽しませています。毎年、地域交流の一環として地域の公園愛護会の方と一緒に花の種を植え、地域の公園に植える活動をしています。散歩では商店街の人たちと挨拶をしたり、手を振ったり交流を図っています。ハローウィンでは、商店街を練り歩き、沢山のお店や地域の人たちから歓迎を受け、お菓子を貰いました。

・幼児のお道具箱には、自由画帳やクレヨン、粘土が入っています。ハサミや糊はクラスで管理し、3階には段ボールやティッシュケースなど廃材の入った箱が用意されています。自由遊びの時間には、保育士が、子どもが自発的に表現できるよう準備しています。子どもと保育士と一緒に紙皿やヤクルトカップから手作りの鈴やタンバリン、マラカスをいりリズムに合わせて身体を動かしたり、音遊びをしています。年長組は毎年趣向を凝らした発表会を行い、28年度はキーボードやハンドベルと一緒に演奏し、楽しみました。

・子どものケンカについては危険性を伴う時にはすぐに止めに入りますが、様子を見て互いの気持ちを受け入れながら納得するように導きます。年齢に応じてトラブルの原因など解決策を自分たちで考えるよう援助しています。朝・夕の保育や日中の散歩では異年齢活動が行われています。0・1歳児、2・3歳児、4・5歳児の同フロア同士の異年齢保育は日常的に行われています。2歳児のお昼寝の時間に5歳児の子どもが来て、トントンしながら寝かしつけていました。保育士は公平な態度や肯定的な表現で子ども達に接するようにしています。子どもへの語りかけについては「保育従事者の心得」、園長作成の「子どもへの接し方」など書面を配布し、職員会議や園内研修を行い、常に人権感覚を持って子ども達の前に立てるかを考えて保育しています。

・毎日元気のいい日には散歩や屋外活動を行っています。外遊びでは紫外線除けの帽子

をかぶり、蚊の多い時期には虫よけパッチやスプレーなどを保護者に用意してもらっています。園庭や屋上のプールでは紫外線除けのカーテンをしています。乳児は公園のすべり台やブランコを利用し、バランス感覚を養い、室内では保育士が手や足を動かしながら、階段を上り下りするなど運動能力を高めています。幼児は縄跳びやボール遊び、マラソンなどを通して、発達に応じた運動能力を高める取り組みをしています。子どもの体調がすぐれない時には散歩をやめて室内で子どもが望むブロックやおりがみ、本などで静かに過ごす環境設定をしています。

## II-1 保育内容[生活]



・0・1歳児の食事では、子どもにゆったり接することができるように、クラス担任以外の職員も手伝うようにしています。配膳はいつも同じようにセッティングし、バランス良く食事がすすむように援助しています。調乳は保育士が行い、目を合わせ優しい言葉かけをしながら授乳しています。授乳や離乳食については成長に合わせて目安を作り、徐々に園生活のリズムに合わせていきます。子どもが食べようとする意欲や行動を大切に保育士が言葉をかけたり、「おかわり」ができるようにし自ら食べる気持ちが満足できるようにしています。食事の当番活動ではみんなの前に立ち、「いただきます」の挨拶を先導し、幼児は自分の皿を片付け、配食についてはできると思われるものは配ってもらいます。

・献立は2週間単位の同メニューサイクルで栄養士が立てています。献立表には昼



食と3時のおやつ材料名や栄養素、調味料、栄養価を載せています。離乳期の献立、補食献立を作成しています。季節感のあるバラエティーに富んだ献立を提供するため給食会議が毎月実施されています。盛り付けについては、彩りを考えて高さや釣り合いをよくするよう配慮しています。食事の時には職員が三角巾やエプロンなどの身支度をすることで雰囲気作りをしています。食事では子どもや保育者も一緒に食事をし、食材の話や子どもの好きなキャラクターの話など会話を楽しんでいます。食器は強化磁器を使用しており、乳児、幼児で大きさや形状を変え、食後は消毒液につけ洗浄機で洗い、熱風殺菌庫で乾かします。食材は近隣商店街や市場、卸業者で購入し、過去に市の放射能汚染検査も実施しました。

・月1回職員10名参加の給食会議を行い献立作成に反映させています。子どもの好き嫌い、大きさ、硬さ、人気のもの、子どもが食べている離乳食の段階、丸飲みしていないか、時間内に食べられるか、子どもの食事の様子、食べてから増やす等、課題について検討し給食に反映させています。栄養士・調理士は子どもの様子を週1回、見に戻っています。残食記録をクラス別に確認し給食日誌に記録し、会議で話し合い献立や調理に反映させています。年間食育計画を作成し、箸の持ち方や三色食品群分類、ソラマメの皮むきやサンドイッチ作りなどの調理体験、伝統の行事食など年間を通して食に触れ、興味を持たせる取り組みを行っています。

・献立表は3分類に分け、栄養価を記載しています。離乳食とアレルギー対応、補食献立があります。食事アレルギーに対応し専用トレーや食器を用い、ラップをして名前を記入して混入しないようにしています。保護者には随時レシピ内容を詳しく伝えています。新入園時の保護者に向けて試食会を開き、子どもの食べる量、固さ、切り方などを示し、保護者からは参考になったという意見が寄せられています。

・寝る前には絵本を読むなど落ち着ける雰囲気を作り出しています。安心して心地よい眠りにつけるよう、カーテンを閉めて心の休まる明るさでヒーリング系音楽を流し、室温・換気に配慮し午睡の環境を整えています。0歳児は5分おき、1.2歳児は10分おきにSIDS予防のプレスチェックを行っています。5歳児クラスの午睡については就学に向けて保護者と連携しながら1月から午睡時間を短くし、室内で座って遊ぶ玩具や簡単な学習・ワークなどを行っています。

・日課の中で一人一人の生活リズムを大切にしながら、1歳ごろになると子どもの様子を見ながらトイレに誘っています。個々の子どもの成長の様子を見定めながら園から家庭にトイレトレーニングについて連絡します。トイレトレーニングは家庭の希望と子どもの状況に合わせて連携を取りながら、子どもに無理のないように進めています。また、自分でできたという満足感を子どもが持てるように接しています。排尿後のお尻拭きやトイレペーパーの使い方、手洗いなど、トイレの使い方を丁寧に援助し教えています。

## II-2 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]



・常勤の看護師がおり、0.1歳児保育室の1階、2・3歳児保育室2階、4.5歳児のいる3階をそれぞれ頻繁に回り、一人一人の子どもの様子を把握し、観察や声かけ、相談を受け、処置をしています。看護師日誌には毎日の子どもの状況・対応などを漏れなく記載しています。健康に関わるマニュアルには発熱時の対応、下痢の時の対応、嘔吐時の対応などに対応する感染症マニュアルがありますが、健康管理マニュアルとしてまとめられた形は取られていません。子どもの既往症等については入園の際に保護者が記入した園指定の「児童健康台

帳」を提出してもらい、入園面談で確認しています。保育中に体調不良になった子どもについては園での様子を保護者に伝え、帰宅後の対応について看護師が手紙を書き、担任から伝えています。歯磨き指導は2歳児から行い、食後の仕上げ磨きは保育士が行っています。

・嘱託医による健康診断は年2回、歯科健診は年1回行い、「児童健康台帳」に記録し児童ファイルに綴じ保管されています。児童健康台帳は入園時に保護者が記載し提出していますが、1年に1回保護者に戻し、予防接種など1年間に受けたものや変化を書き足して貰っています。日常的に保護者と看護師や保育士は連携しています。健康診断の際にはぜんそくや熱性けいれん、扁桃炎等の子どもの状況を看護師から医師に伝え、アドバイスを貰い、保護者に伝えています。医師・歯科医師の健診結果は紙面に記載し保護者に渡しています。医師と歯科医師は近隣で開業しており、緊急時には速やかに連携が取れます。

・感染症に関するマニュアルがあり、感染症の種類及び飛沫感染対策や空気感染対策について明記しています。入園時には、保護者に「登園停止が必要な感染症」や登園許可証、登園届の必要性を説明し配付しています。保育中に子どもが発症した場合は看護師が保育士と連携して保護者に連絡し迎えに来るまで事務所に隔離し看護師が対応しています。感染症が発生した時は発生日時・感染症名・潜伏期間・症状などを記載し玄関の掲示板や階段に掲示し保護者に知らせています。また、1年間に病気で欠席した子どもの内、感染症にかかった人数や月日を集計し、傾向を掴んで予防に役立っています。看護師や栄養士は看護師会や衛生管理講習会に参加し最新の感染症情報や対処法を学んでいます。加えて市やニュースからの最新情報を入手して職員会議で職員に周知しています。感染症対策研修として看護師が主導し、全職員参加の下に嘔吐処理マニュアルを使い実践的なデモンストレーションを行い、処理の仕方やマニュアル確認を2回にわたり実施しています。

II-2 健康管理・衛生管理・安全管理[衛生管理]



・衛生管理マニュアルがあり、保育室の温度・湿度、遊具等の衛生管理、冷暖房機器他の清掃、歯ブラシの保管、園庭・トイレ・プール等、衛生管理の仕方について記載しています。感染症など流行の季節前には随時見直しを行っています。職員の入職時及び必要に応じて感染症マニュアル、やすらぎ保育園清掃方法などを確認しています。年間保健計画を作成し、保健目標に「生活リズムを整え、美しく快適な保育園生活が送れる。感染症対策(手洗い、環境衛生等)、病気の早期発見と早期対応の実施等」とし衛生管理や健康管理を適切に行うための計画を月ごとに具体的に作成し、実行しています。マニュアルは事務室に保管され、マニュアルに基づいて保育室、トイレ、調理室、園庭など園内外とも清潔な状態が保たれています。玩具や教材の洗浄は殺菌消毒液の次亜塩素酸液を希釈して清掃を行っています。感染症が発生したら通常以上に室内の消毒を行うようにしています。

II-2 健康管理・衛生管理・安全管理[安全管理]



・「災害対応マニュアル」「自然災害の対応マニュアル」「避難訓練マニュアル」があり、玄関には緊急避難場所を掲示しています。地震対策として地震ジェルや棚上のストッパー、テレビ固定など安全対策を講じ、各保育室には、園児全員分の防災頭巾と職員用のヘルメットが保管されています。ホームページのトップ欄に地震・災害情報を載せ緊急時のお知らせをしています。子どもが地震時の危険を回避できるよう保育室の壁側で午睡をしています。保育室には緊急連絡先が掲示してありま

す。地震などの災害に備え、毎月1回避難訓練を行い、消防署職員による防災の話や職員に向けて救急救命法の指導が行われています。

- ・「事故対応マニュアル」「応急処置・救命処置マニュアル」があり、園児のケガ等について対応方法が記載されています。保護者への連絡先と救急病院や救急情報センターなどの連絡先が1階受付事務所にあります。事故やケガの際には保護者に連絡し、申し送りで伝達し、各クラスの「申し送り書」に記載し翌日まで分かるようにしています。ケガや事故は「ケガ報告書」「事故報告書」に記入し、ミーティングで原因や対応策について話し合い、発生時や発生場所、ケガの症状、原因と対策を記録して情報を共有し、予防に努めています。
- ・不審者対応マニュアルが整備され、出入り口は二重扉になっており、電子錠で施錠されています。また入口事務所や4階事務所で確認できるモニターを設置し、侵入防止を行っています。警察や消防、区こども家庭支援課等の連絡先を明記し、連絡体制が整備されています。不審者情報については法人会社の創業が1890年で地域に根づいており、社長は地域の商店街の理事として長年活動しており、不審者情報も含めて各種の情報が地域から入りやすい環境にあります。

### II-3 人権の尊重



- ・子どもの気持ちや思いを受け止め、自己肯定感が持てるような対応や声掛けを心がけています。子どもにやってほしい事、守ってほしい事は職員が手本を見せるようにしています。日常の保育で職員の気になる言動が見られた場合は、職員間で注意し合ったり、園長・副園長が助言や指導をしています。
- ・友達や職員の視線を気にせず過ごせる空間として、保育室の角になっている場所や柱の陰などがあります。子どもがクールダウンをしたい時や一対一で話し合える場所として、階段の踊り場や事務所を利用しています。
- ・個人情報取り扱いに関するガイドラインが就業規則に記載されています。個人情報の取り扱い、守秘義務については、入職時に説明を受けるほか、職員会議や日常業務の中で園長・副園長が話をしています。個人情報に関する記録類は事務所の施錠できる棚に保管管理しています。保護者には、入園時の説明のほか、ホームページへの写真掲載、テレビ撮影時などその都度確認をしています。
- ・遊び、行事役割、持ち物などで性別による区別はしていません。便宜上、順番や並び方を男女で行っているケースを含め、今後も、男女の違いを認め合いながら、振り返る機会が増えることが期待されます。

### II-4 保護者との交流・連携



- ・面談形式の入園説明会及び各クラス懇談会にて保育の基本方針や内容を説明しています。パンフレットやしおり、玄関壁には園の方針が明示されています。送迎時には保育の内容が分かるよう写真の掲示やボードで「今日の保育」を掲示したり、連絡帳で保育方針が理解されるように努めています。年1回保護者にアンケートを実施し、保育方針や保育内容が理解されているか確認しています。今回の「利用者家族アンケート」では半数以下の保護者が保育の基本方針を理解されていない結果となっています。説明の徹底が期待されます。
- ・子どもの送迎時には家庭の子どもの様子について話し合ったり、園でのその日の生活を伝えています。連絡帳で家庭での生活や園での活動など互いに伝えあい、情報を交換すると共に子育ての喜びを分かち合っています。個別面談は保護者からの希望に応じると共に、必要に応じて園から声をかけています。懇談会は年2回実施されており、年度初めは1年間の保育内容や行事予定、年度末には1年間の

活動報告や子どもの成長を説明しています。欠席者には懇談会の内容を記載した「お便り」を渡しています。


・相談場所は事務室横にある休憩室や空いている保育室が使われますが、相談中は他者が入らないように配慮しています。相談を受けた保育士が適切に対応できるよう担任、主任、副園長、園長という組織的なフォローアップ体制があります。また、相談内容により専門者として看護師や栄養士も加わり、継続的な支援を行っています。面談内容は面談記録に記載し、場合により専門機関につなげています。


・「えんだより」「クラスだより」は毎月発行し、保育内容や行事、予定、今月の歌、各クラスのエピソードなど活動の様子が挿絵やカットで解り易く伝えられています。また、ホームページでは行事や誕生日の様子を写真に載せ、子どもが表情豊かに活動しているシーンを捉えています。その日の保育の様子はボードに掲示しお迎いの保護者と子どもの話題にできるようにしています。ビデオや写真を取り、日常の保育の様子を保育室の壁面に掲示しています。

・年間行事予定表については前年度末、若しくは4月1日に保護者に渡し、年間の計画や休暇を取り易いようにしています。親子遠足や運動会、クリスマス発表会などの保育参観は多くの保護者が参加しています。保育参加はいつでも受け入れていますが、積極的に参加される保護者は見受けられません。保育参観と保育参加の違いを説明し、期間を設け保護者が参加しやすい環境をつくる必要があると考えられます。保育参観や懇談会に来られなかった保護者に向けて、行事内容や懇談会の内容を各クラスで「お便り」として作成し渡しています。

・卒園式のお別れ会を保護者が自主的に企画し取り組んでいます。その際の打ち合わせ会場として保育室を提供しています。また、職員への参加依頼があり、全職員が出席しています。運営委員会を年2回開催し、各クラス代表が1～2名参加しています。内容は園運営や事業報告・計画、子どもの様子、保護者の要望や意見を聞くなど、保護者との話し易い関係を築いています。


### 評価領域 III 地域支援機能

評価分類	評価の理由(コメント)
III-1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供 	<p>・法人社長は近隣商店街の理事を長く勤めており、保育園の設立にあたり地域住民のニーズを捉えています。商店街で働く人達の願いとして「子どもを長く預けられるよう保育時間を長くしてほしい、土曜保育を実施してもらいたい」等の具体的なニーズを把握しています。園長は区園長会に出席し、福祉制度情報や地域情報を得たり、保育に係る検討会に参加しています。また、27年度には、地域で取り組んでいる「地域子育て土・日支援事業」に副園長が参加し、地域の人の子育て中の悩みや相談を受けました。この事業への参加は地域の保育ニーズの把握にも繋がっています。</p> <p>・地域の子育て支援についての区の事業に対して、協力・提供方法など職員間で話し合いを行っています。毎年行われる区事業・子育て支援「まちのほっとスペーススタンプラリー2016」に協賛し、園庭開放を5回実施しています。昨年度は一時保育を行い1名の実績がありました。しかしながら、地域住民に向けての子育てや</p>


	保育に係る講習や研修会を開催するまでには至っていない状況にあり、今後の取り組みが期待されます。
III-2 保育所の専門性を活かした相談機能 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒園児を運動会に招待したり、ハロウィン行事「ハロウィンを一緒に歩きましょう」など、園外・園内に掲示し、地域の子どもたちに向けて情報提供を行っています。園庭開放や一時保育、地域の子育て支援への参加により育児の悩みや相談にんでいます。育児相談については定期的に相談日を設け相談に応じたり、園からのお知らせを地域に回覧するなどの相談や情報提供は行われていません。今後は地域の子育て支援に向けて園自らの取り組みが期待されます。</li> <li>・区行政や地域療育センター、児童相談所、医院・歯科医院、区園長会、近隣保育園等関係機関や団体等の連絡先を整え、必要な際には連携が取れるようにしています。そうした情報について幹部職員は共有していますが、一般職員への周知は図られていません。関係機関との連携担当は園長が対応し、日常的な連携が来ています。</li> </ul>


## 評価領域 IV 開かれた運営

評価分類	評価の理由(コメント)
IV-1 保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回近隣の老人ホームとお楽しみ会や運動会を行い、高齢者との交流を図っています。運動会には、卒園児を招待したり、次年度の入園希望で見学に来た家族にも開催のアナウンスをして来園を促しています。近隣町内会のお祭りでは子どもたちが山車を引っ張っています。小学校との給食交流会や小学校探検を行ったり、園の運動会に1年生が参加しています。商店街のお祭りに音響セットを貸し出しています。勤労感謝の日には、子どもの作品・手作りカレンダーを地域の交番や消防署、商店街の各お店に配り、日頃の感謝を伝えています。</li> <li>・公園、地区センターの多目的ホールやプレイルーム、消防署見学など地域の社会資源を活用しています。散歩や買い物、ハロウィンの行事、祭りなど日常的に地域の人たちとの交流を図っています。老人ホームや小学校との交流、地域の4保育園の子ども達とはドッジボールやリレー大会を年2回実施し、交流を図っています。商店街の祭りや町内会の祭り、区の駅伝大会に参加するなど地域の文化に触れ、地域への理解を深めています。</li> </ul>
IV-2 サービス内容等に関する情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園パンフレットやホームページにより、区こども家庭支援課や園見学者、一般市民に情報を提供しています。地域のケーブルテレビのタウンニュースで園紹介の取材を受け、商店街を子どもが仮装して歩くハロウィン行事の様子が放映されました。また、法人代表がタウンニュースや経営雑誌等で取材を受け園を紹介しています。パンフレットやホームページには、サービス内容の詳細、料金、職員体制等利用希望者が必要とする情報を提供しています。</li> <li>・電話での問い合わせに対しては、園長または副園長が対応しています。見学希望者には希望の日程に合わせ、子どもの生活内容が分かるように子どものいる時間帯・午後3時半ごろに設定しています。園のパンフレットやしおりを用意し、園長または副園長が説明しています。入園までに用意するもの、母乳の場合はミルクに切</li> </ul>

	<p>り替えるなど伝えていきます。見学者からの病気の時の対応や入園までに用意するものなどの質問に応じています。</p>
<p>IV-3 ボランティア・実習の受け入れ</p> 	<p>・ボランティアについては受け入れていく方向で考えていますが、園開設4年目ということもあり、その体制が不十分な状況です。今後はボランティアへの基本的な考え方や方針を立て、受け入れの体制や仕組みを整え、マニュアルを整備されることが期待されます。</p> <p>・実習生マニュアルを作成し、実習生に園の方針や利用者への配慮等を説明しています。子どもや保護者、職員に対してもあらかじめ実習生受け入れについて説明しています。受け入れは園長が担当し、オリエンテーションを行い園の様子や保育の方針、プログラムを確認し、園として必要なことを伝えていきます。学校からのプログラムについて園の内容と調整し実施しています。1日の終了時にはクラス担任と話し合い実習内容の確認を行い、アドバイスをしています。実習最終日には総評を行い、実習を終了しています。学校卒業後は園の就職に就職した保育士もいます。</p>

## 評価領域 V 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>V-1 職員の人材育成</p>  	<p>・園長は、クラス編成、勤務時間帯、経験年数などを考慮し人材配置を行い、必要な場合は逐次配置をするよう努めています。</p> <p>・園の理念や方針を踏まえた保育を実践するための人材育成の計画及び個々の職員が自らの資質向上に向けた目標を定め、それに基づいた個別の評価や園長等との面談による達成度の客観的な評価や指導をしていく仕組みは確認ができませんでした。今後の検討が期待されます。</p> <p>・研修計画は副園長が担っています。外部研修情報を職員に知らせ、本人の希望も取り入れ、効果的な研修となるよう園長・副園長がアドバイスを行っています。外部研修資料はファイルし、全職員閲覧することができます。園内研修は必要に応じて議題を設定し、開催しています。今後は、外部研修後に職場へフィードバックする仕組みや研修成果を業務に活かすための仕組み作りが期待されます。</p> <p>・非常勤職員職員等への日常の指導としてマニュアルは事務所にあるほか、保育に直接関わる職員マニュアルや保育従事者の心得を配付しています。クラス担任をしている非常勤職員もあり、職員会議は原則全員参加としています。さらに、園内研修のみならず、外部研修に参加できる体制を整えています。</p>
<p>V-2 職員の技術の向上</p>   	<p>・一昨年、自己評価表に基づいて職員は自己評価をしています。個人面談時の話し合いや職員会議で業務を振り返りながら園長・副園長が中心となり、園の自己評価につなげています。今年度の再開が期待されます。一層のサービス向上のため、中部地域療育センターの臨床心理士、5歳児クラスのダンス教室の外部講師から指導やアドバイスを受けています。</p> <p>・年間指導計画、月間指導計画、保育日誌に自己評価の欄があり、評価・振り返りが出来る書式が定型化されています。「月のスケジュール」書式を週日案として活用しています。職員は日々の子どもの姿や保育実践について振り返り、対応方法</p>

	<p>の改善を考え次の計画に反映させるよう努めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一昨年度は日々の保育業務での振り返りや、職員の自己評価表に基づいた自己評価などを通し、評価できる点や課題等の把握に努め、園としての自己評価を作成し、玄関に掲示公表しています。今年度の再開が期待されます。</li> </ul>
<p>V-3 職員のモチベーションの維持</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の経験・能力・習熟度に応じた期待水準の明文化の確認ができませんでした。職員自ら、役割と課題を認識し、やりがいや満足度の向上のためにも明文化が期待されます。</li> <li>・現場にいる職員が主体的、自発的に判断して保育にあたるよう可能な限り、権限を委譲しています。主任、副園長、園長に連絡や報告をすることで最終的な責任を明確にしています。</li> <li>・園長・副園長は、年1回職員と個別面談をし、職員の満足度や要望を把握しています。職員会議で業務改善の意見・要望を聞き、実行に移しています。日常的に園長・副園長・主任が現場に入っており、話しやすい雰囲気を作っています。</li> </ul>

## 評価領域 VI 経営管理

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>VI-1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が守るべき法・規範などは就業規則や「保育従事者の心得」に明記されており、入職時に説明をしています。</li> <li>・年度ごとに設置法人の現況報告書、財務諸表を作成しています。事務所にあり、保護者の求めに応じて公開ができます。</li> <li>・他施設での不適切な事例や、新聞やニュース報道などを職員会議などで取りあげ、話し合っています。</li> <li>・牛乳パック、段ボール、ペットボトルなど廃材は手作りおもちゃや備品にしたり、子どもの製作に活用しています。節電・節水等心がけています。しかし、環境への考え方、取り組みについての明文化は確認ができませんでした。運営に活かされている様々な環境への取り組みについての明文化が期待されます。</li> </ul>
<p>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理念、方針は保育運営マニュアルに明記し、職員に配付しているほか、玄関・事務所に掲示し、いつでも確認ができるようにしています。園長は、職員会議で折に触れ保育の方針や目標に立ち返る話をしたり、毎年の個人面談時には、理念に基づいた保育観を話し、理解を深めるようにしています。</li> <li>・重要な意思決定が必要な場合には、保護者に対し説明会を開催し、経緯や理由を説明することとしています。園の行事や業務の変更点などについては、その都度、あるいは懇談会で説明しています。</li> <li>・副園長は、園長のサポートのほか、外部研修参加や南区地域子育て支援拠点等関係機関と関わり、保育の充実のためのスーパーバイズのスキルを高めています。また園長、主任と協力しながら職員全体の業務状況の把握や、心身ともに良好な状態で仕事ができるように、助言をしたり、職員間のコミュニケーションに気を配っています。それらを考慮しながらシフト調整をしています。</li> </ul>

### VI-3 効率的な運営



・事業運営に影響のある情報は設置法人代表が中心となり、収集、分析をしています。園長・副園長は、区の園長会や幼保小連絡会、南区地域子育て支援拠点等さまざまな会合に出席し、情報収集をしています。園に関わる事項は、職員会議で周知しています。

・運営に関し、設置法人で弁護士や公認会計士の意見を取り入れています。

・単年度の事業計画のほか、平成28年～平成30年度までの中長期計画があります。園の安定運営の確立を最優先課題として位置づけ、組織の見直し、研修制度の充実、地域ニーズの把握など定めています。園の進む方向をさらに明確にするため、中長期計画の定期的な進捗状況確認の機会をもつことが期待されます。



# 本人調査

## 本人調査(平成28年度)

### 結果の特徴

#### 【0歳児】

##### ・食事

洗面台まで、一人の子どもは保育士と手をつなぎ支えられながら歩き、他の子どもはその後をトコトコ歩いて追いかけます。自分で手をゴシゴシしたあと保育士に仕上げ洗いをしてもらいます。席に着き、みんなでいただきますをして食べ始めます。スプーンを持ちながら手づかみでも食べています。保育士は「モグモグ」「おいしい？」と声をかけています。食べさせてもらい「うんうん」と言いながら満足そうにうなずく子どもがいます。除去食を提供している子どもはフリー保育士が傍らに座り、誤食の無いようマンツーマンで援助しています。

##### ・午睡

カーテンを引き、電気を消しています。自分の布団に寝転び、保育士に背中をトントンしてもらったり、さすってもらったりしています。まだ眠くない子どもはコロコロし、掛け布団を頭まで被ったりしていましたが、やがて眠りに入っていました。

#### 【1歳児】

##### ・食事

子どもが「これは？」保育士は「これはね、高野豆腐」「これは？」「たまねぎ」「みんなおいしいから、いっぱい食べようね」と話しています。スープばかり飲む子どもには、おかずやごはんもあることをさりげなく声かけしています。「せんせい、せんせい」と保育士に隣に座って欲しい子どもから声がかかります。「順番で行くから、待っててね」と優しく伝えています。

##### ・午睡前

食事が終わるとトイレに行きます。トイレのほか、おまるを使用しています。済んだ子どもは紙パンツやズボンを自分で穿こうと頑張ったり、最初から甘えて保育士に穿かせてもらったりもしています。みんなが揃うまで子どもたちは絵本を広げています。お休み前の絵本の読み聞かせは「クリスマスにはおくりもの」です。同じフロアで先に寝ている0歳児クラスに配慮して保育士は小さな静かな声で読みますが、子どもたちはすぐに集中します。布団に入ってから、オルゴールの音色のCD音楽を流しています。

#### 【0、1歳児合同公園散歩】

公園にある砂場と固定遊具で遊んでいます。砂場から固定遊具のほうに興味を持ち、向かう子どもを見ると、保育士が「○○ちゃん、行きます」と固定遊具で遊んでいる子どもたちを見守っている保育士に声をかけます。「何する？滑り台？」と子どもを笑顔で迎え入れます。0歳児が小さいバケツに砂を入れ混ぜています。「○○ちゃん、何できた？」と保育士は優しく尋ねます。お帰りの時間になりましたが、遊び足りないのか、地面に大の字になって抵抗する1歳児がいます。「もう帰らなくちゃいけないんだ」と説得しますが、なかなか難しい様子です。大好きな保育士と手をつないで帰ることでやっと納得をしていました。帰り道のバギーの中で、隣の子どもの指さしニッコリしている0歳児がいます。保育士は「○○ちゃんは、○○くんが大好きだね～」と笑顔です。表通りから細い脇道に入り、買い物客で賑わう横浜橋通り商店街を抜けて園に戻りました。

#### 【2歳児】

##### ・朝の様子

各自自分の席に座っています。一人の子どもが机に伏して眠ったふりをしています。向かいに座っている子どもが頭をポンポンして「おきろ、おきろ」と言います。二人は顔を見合わせて笑顔になります。配られたシール帳に自分で出席のシールを貼ります。「せんせい、ここ？」と確認をする子どもには「あたり」と保育士は答えています。少し体調がすぐれず元気

のない子どもは送りに来た保護者からなかなか離れることができ口せん。保育士が子どもを優しく抱っこをして受け入れます。子どもは少し保護者のセーターを握っていましたが、すぐに気持ちを切り替えた様で、席に着き、シール帳に自分でシールを貼っています。

#### ・食事

「すなばでおうちつくったの」「ボールけた」「せべりだい(滑り台)」とおしゃべりに花が咲きます。ある子どもが保育士に向かい「見てて」とニンジンをおはき、ご飯をおはきとします。それを見ていた隣の子どもも負けじと「見てて！」とニンジンをおはき。「わ～。大きなお口。えらいね～」と保育士は感心した様子の表情を見せ、子どもの意欲を引き出しています。残り少なくなると「せんせい、あつまれして」と伝え、最後まできれいに食べています。

### 【3歳児】

#### ・昼食

食事の準備が始まりました。2つのテーブルに4人ずつ座り8人です。子どもはそれぞれ手洗い場へ手を洗いに行きます。途中小走りに戻ってくる子どもへは「走らないように、もういちどやり直しね」と保育士の声かけがありました。給食が配られます。「手はおひざ、ステキ、姿勢がいいね」と保育士が子どもたちを褒めています。今日のメニューは「豚肉と豆腐の煮物、キャベツの磯あえ、ごはん、スープが温かそうね、デザートはみかん」と保育士が説明しています。3歳児は自宅からスプーン、フォーク、箸の3点セットの箸箱を持参し、食事内容により使うものを変えています。今日はスプーンが4人、フォークが1人、箸が3人でした。お箸を使っている子に「スープの中のお豆つかめたね、上手、上手」と褒めています。子どもたちは食事を楽しみながら、食事作法や生活技術を身につけているようです。

#### ・午睡

3歳児は2歳児と一緒にのお部屋に布団を敷き、並んで午睡をします。すでに食事も終え、布団に入り、ごろごろしながら保育士にタオルをかけてもらっている子、保育士にトントンしてもらっている子もいます。パジャマの着替えを2人の子がしています。テーブルで食事をゆっくりしている子もいます。保育士はせかすことなく子どもの気持ちを尊重しているようです。遅くなった2人のこどもがすべて自分で着替え、歯磨きを終え布団に入りました。自分でやろうという意欲があります。保育士がほめています。「頑張ったね」。食事の子はまだ終わっていません。「あと少し、上手、上手、終わったね。デザートのミかんはおいしいよ」と勧めています。子どもの歯磨きが始まりました。「○ちゃん、シャカシャカが聞こえないよ、もっとシャカシャカして」としっかり歯磨きを促しています。最後に保育士が仕上げ磨きをしました。ふと、ドアが開きパジャマを着た5歳児が入ってきました。保育士が「ありがとう来てくれたの」と言っています。5歳児はお布団に横になっている二人の子どもの中に座りトントンを始めました。子どもたちは安心してように次第に眠りについて行きました。

### 【2、3歳児合同公園散歩】

手をつないで元気よく出発します。別の公園に行く4、5歳児クラスを道の向こうに見つけ、「わ～」「いってらっしゃ～い」とお互い手を振り合います。散歩中の高齢者に「こんにちは」と挨拶をすると、「いってらっしゃい。元気だ元気だ」と子どもたちを笑顔で見送ってくれます。公園では砂場が子どもたちに人気ですが、なぜかみんなおしくらまんじゅうのようにひとかたまりになって遊びます。保育士が「みんな～、もっとひろがっていいんだよ」と伝えます。カップに入れた砂をごはんに見立て保育士に「はい、どーじょ(どうぞ)」と渡します。保育士は「ありがと」食べる真似をして「おいしい」と応えます。子どもは満足そうな笑顔を見せます。別の場所では「○ちゃん、先生とかかけっこしない？」と誘う場面、ボール蹴り、縄跳びの汽車ごっこ、ドングリ探しなど思い思いに遊んでいます。ある子どもが「○ちゃん、いっしょにあそぼう」と誘いますが「いや」と言われます。砂場にトボトボ移動し、別の子どもにも声をかけますが、また断られます。子どもは少し俯いていましたが、すぐ固定遊具に向かって元気よく走って行きました。

### 【4歳児】

#### ・食事

保育士がエプロンをして「給食配ります」と言うと子ども達は静かになりました。「○ちゃん座りかたおかしいよ」と全員がきち

んとテーブルに向っているかを確認しています。「○君、薬を飲み終わりました。変化なしです」と保育士が給食室へ伝えて  
います。「今日のアレルギー食はありません」と給食室からの応答がありました。各自のテーブルに盛り付けた茶碗を置  
き、「ごはんは左です」と位置を伝えていきます。配り終わるとお当番さんが前に出て「用意はいいですか。それではみなさん  
一緒に、いただきます」のご挨拶をしました。全員がお箸を使っての食事です。持ち方は複雑に持つ子もいましたが、ほ  
ぼ全員が正しくお箸を使っていました。「お茶碗をもって、食べてね」と保育士が声かけしています。「今日のごちそうさまは  
長い針が1です」と12時5分の終了時を伝えていました。子どもたちは「スープが好き、僕は魚、ニンジン、トマトなどなど」  
楽しそうに話しが盛り上がっていました。

#### 【5歳児】

##### ・食事

5歳児が食事の準備に入りました。ダムウエーダーから食事が運ばれてきました。テーブルに食事のセッティングが終わり  
ました。食事前に手が触れスープをこぼした子がいました。保育士は布巾を取りに行くよう伝え、その子が拭き終わるまで  
他の子どもたちはじっと待っていました。拭き終わると食事が始まりました。子どもたちはディズニーランドやディズニ  
ーに出かけたこと、お化けの話、公園の話など子どもらしい話題を繰り広げ、食事を楽しんでいました。

#### 【4・5歳児】

##### ・散歩

4・5歳児が19名で散歩に出かけました。4歳児は黄色、5歳児はオレンジ色の帽子をかぶり2列に並んで8組が歩いてい  
きます。先頭は5歳児担任保育士、最後尾には4歳児担任保育士が付いています。道行く人に挨拶しながら、信号では手  
を挙げて渡っています。八百屋の店先では子どもたちが「おはようございます」、店番のご夫婦から「おはよう」「おはよう」  
とにこやかな挨拶が返ってきました。家の前で日向ぼっこしながら居眠りをしているお年寄りがいます。保育士が静かに通  
ることを子どもたちに伝えると、おしゃべりをしていた子どもたちはすぐに気付き、静かになりました。保育士は、危険のな  
いように遅れないように、時々言葉をかけています。目的地の唐沢公園は山の上にあります。「みんな頑張ろうね」保育士  
から声がかかります。「たぬき坂」と書かれた山道の階段を登りました。しっかりした足取りで大人並みのスピードで全員が  
登って行きました。みんな元気いっぱいです。

##### ・公園遊び

頂上は広いグラウンドのある公園でした。各自持参の水筒から水分を補給し、上着を脱ぎ、きちんとたたみ、ベンチの上に置  
きました。「マラソンをしま〜す」と保育士の声で集まります。4歳児のスタートライン、5歳児のスタートラインのそれぞれに  
位置につき、保育士のリードで準備体操です。凡そ200メートルのトラックを2周、一斉に走り出し、全員が走りきりました。  
次は自由遊びです。公園でのルールが話された後、ブランコ、滑り台で遊ぶ子、サッカーボールで遊ぶ子、保育士も一緒  
に鬼ごっこをし、公園中を走り回っていました。晴れ上がった青空の下、遠方にはランドマークタワーがくっきりと見えてい  
ます。子どもたちは自発的に好きな遊びを選び、保育士の援助や声かけ、見守りの下に、思う存分に体を動かし楽しんで  
いました

# 利用者家族アンケート調査結果

(まとめ) 各項目の回答内訳

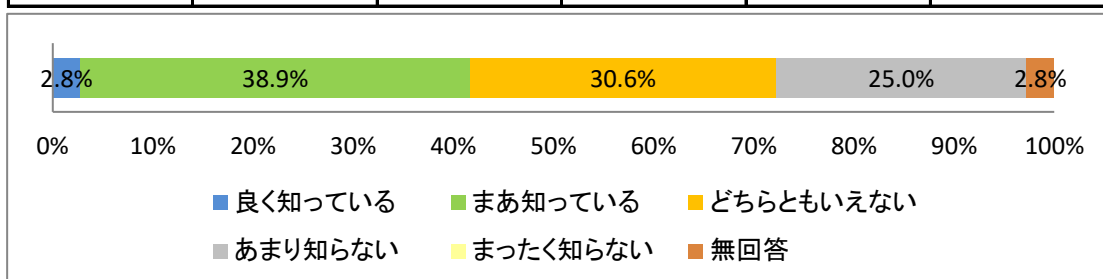
園児数 62人		世帯数 52世帯		回収数 36世帯		回収率 69.2%	
質問項目		満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
問2-1	見学の受け入れについては	50.0%	27.8%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%
問2-2	入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	47.2%	44.4%	2.8%	2.8%	0.0%	5.6%
問2-3	園の目標や方針についての説明には	30.6%	55.6%	11.1%	11.1%	0.0%	2.8%
問2-4	入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については	41.7%	44.4%	2.8%	2.8%	0.0%	11.1%
問2-5	保育園での1日の過ごし方についての説明には	33.3%	58.3%	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%
問2-6	費用やきまりに関する説明については (入園後に食い違いがなかったかを含めて)	38.9%	44.4%	2.8%	2.8%	13.9%	0.0%
問3-1	年間の保育や行事についての説明には	30.6%	55.6%	5.6%	5.6%	8.3%	0.0%
問3-2	年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	22.2%	44.4%	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%
問4-1	クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	61.1%	33.3%	5.6%	5.6%	0.0%	0.0%
問4-2	子どもが戸外遊びを十分しているかについては	66.7%	30.6%	2.8%	2.8%	0.0%	0.0%
問4-3	園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさ)	44.4%	44.4%	8.3%	8.3%	2.8%	0.0%
問4-4	自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	44.4%	47.2%	5.6%	5.6%	0.0%	2.8%
問4-5	遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては	44.4%	52.8%	2.8%	2.8%	0.0%	0.0%
問4-6	遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	41.7%	52.8%	2.8%	2.8%	0.0%	2.8%
問4-7	給食の献立内容については	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
問4-8	お子さんが給食を楽しんでいるかについては	72.2%	25.0%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%
問4-9	基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	58.3%	33.3%	0.0%	2.8%	5.6%	0.0%
問4-10	昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	58.3%	36.1%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
問4-11	おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	50.0%	33.3%	2.8%	2.8%	11.1%	0.0%
問4-12	お子さんの体調への気配りについては	66.7%	25.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%
問4-13	保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	44.4%	41.7%	8.3%	2.8%	2.8%	0.0%
問5-1	施設設備については	27.8%	58.3%	11.1%	2.8%	0.0%	0.0%
問5-2	お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	50.0%	38.9%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
問5-3	外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	27.8%	50.0%	16.7%	5.6%	0.0%	0.0%
問5-4	感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	33.3%	38.9%	22.2%	5.6%	0.0%	0.0%
問6-1	保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	30.6%	33.3%	22.2%	8.3%	5.6%	0.0%
問6-2	園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	50.0%	38.9%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
問6-3	園の行事の開催日や時間帯への配慮については	36.1%	52.8%	5.6%	2.8%	2.8%	0.0%
問6-4	送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については	36.1%	41.7%	16.7%	5.6%	0.0%	0.0%
問6-5	お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	33.3%	55.6%	8.3%	2.8%	0.0%	0.0%
問6-6	保護者からの相談事への対応には	36.1%	52.8%	2.8%	5.6%	2.8%	0.0%
問6-7	開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応については	50.0%	25.0%	5.6%	13.9%	5.6%	0.0%
問7-1	あなたのお子さんが大切にされているかについては	61.1%	33.3%	2.8%	0.0%	2.8%	0.0%
問7-2	あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	61.1%	38.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
問7-3	アレルギーのあるお子さんや障がいのあるお子さんへの配慮については	44.4%	30.6%	0.0%	0.0%	22.2%	2.8%
問7-4	話やすい雰囲気、態度であるかどうかについては	50.0%	44.4%	2.8%	2.8%	0.0%	0.0%
問7-5	意見や要望への対応については	38.9%	38.9%	16.7%	5.6%	0.0%	0.0%



■ 保育園の基本理念や基本方針

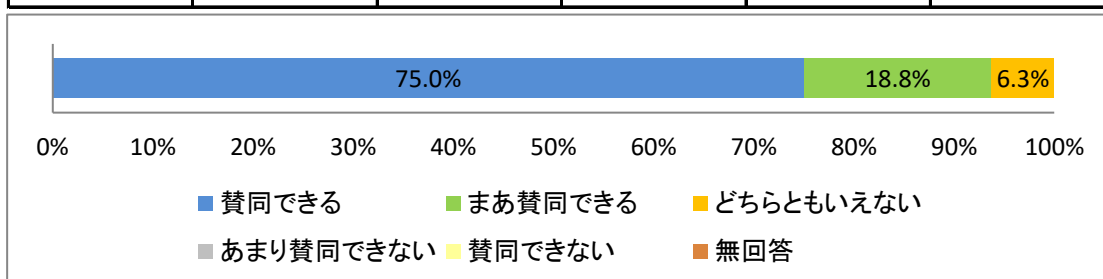
問1 あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存知ですか

良く知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答
1	14	11	9	0	1



付問1 【問1で「よく知っている」または「まあ知っている」とお答えの方へ】  
あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。

賛同できる	まあ賛同できる	どちらともいえない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答
12	3	1	0	0	0



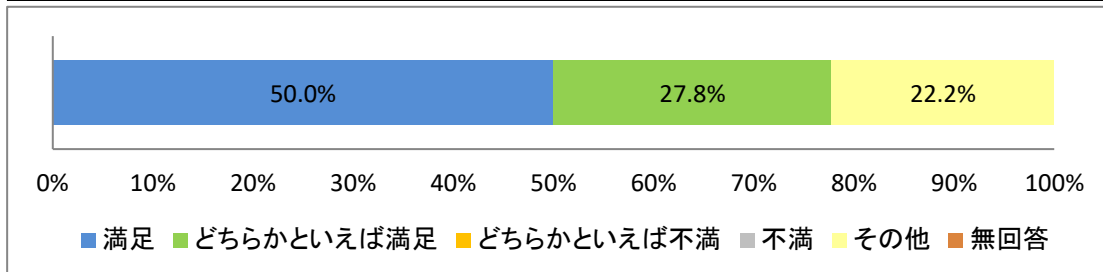


■保育園のサービス内容について

入園時の状況

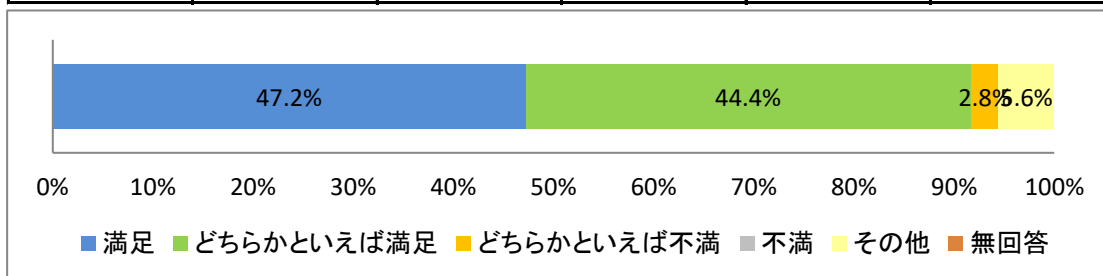
問2-1 見学の受け入れについては

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
18	10	0	0	8	0



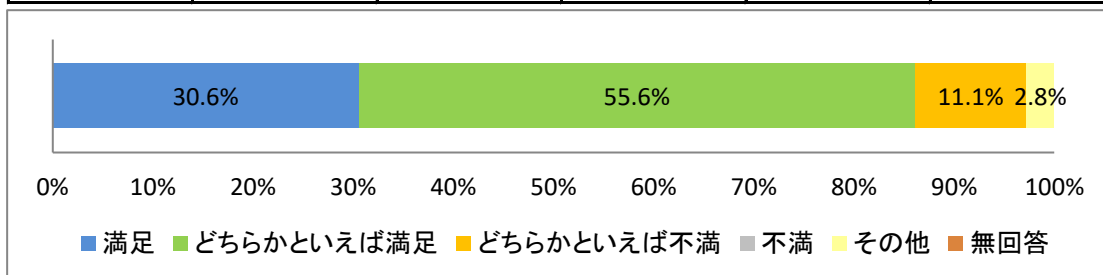
問2-2 入園前の見学や説明など、園からの情報提供については

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
17	16	1	0	2	0



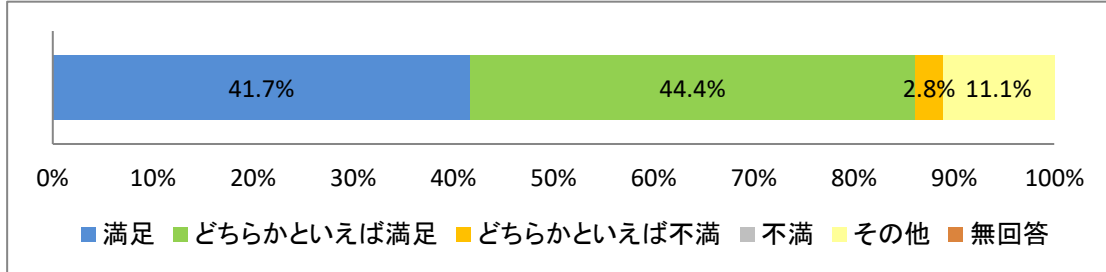
問2-3 園の目標や方針についての説明には

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
11	20	4	0	1	0



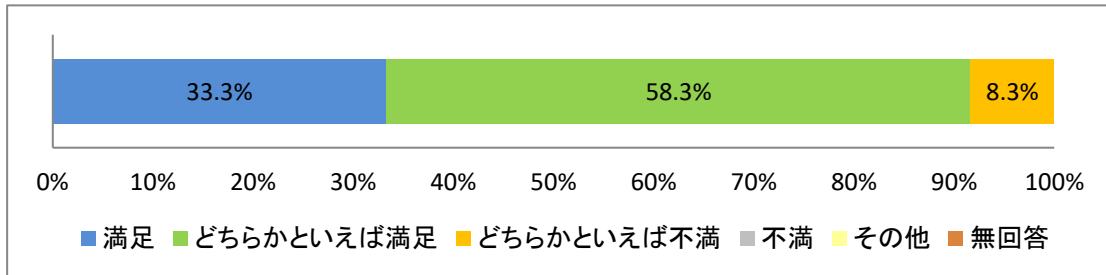
問2-4 入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
15	16	1	0	4	0



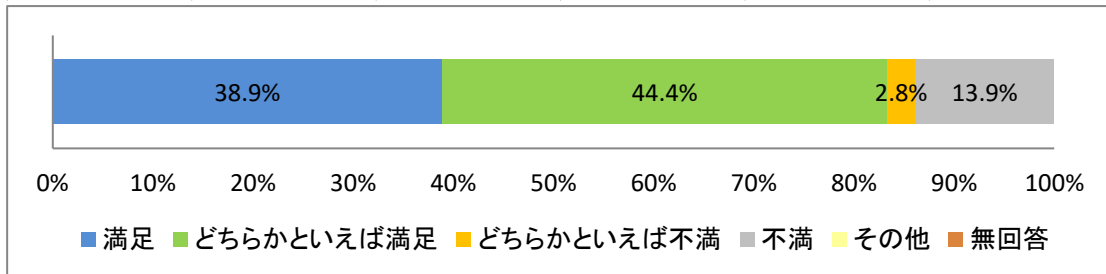
問2-5 保育園での1日の過ごし方についての説明には

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
12	21	3	0	0	0



問2-6 費用やきまりに関する説明については  
(入園後に食い違いがなかったかを含めて)

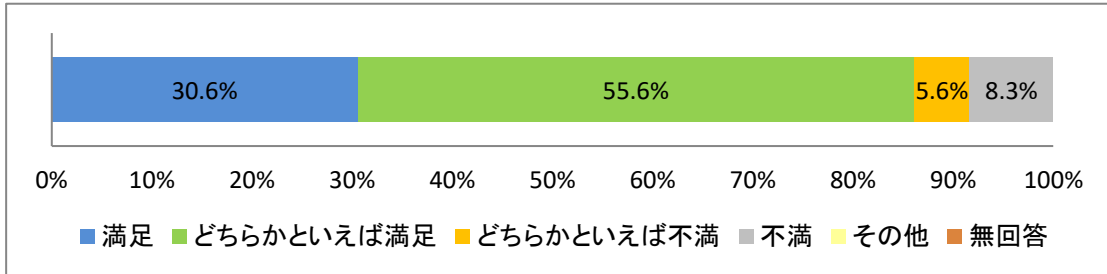
満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
14	16	1	5	0	0



保育のや行事の年間計画

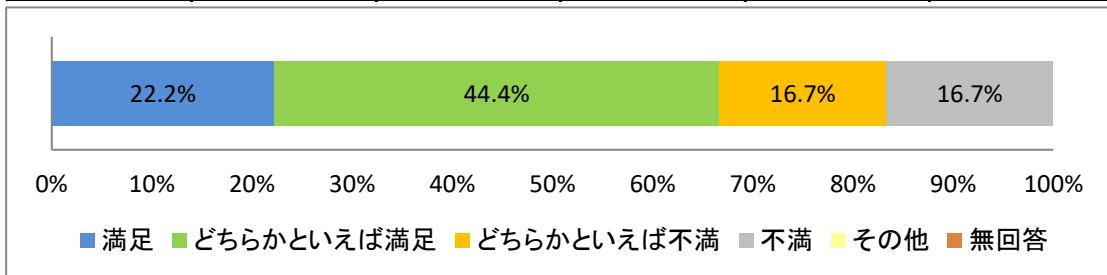
問3-1 年間の保育や行事についての説明には

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
11	20	2	3	0	0



問3-2 年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては

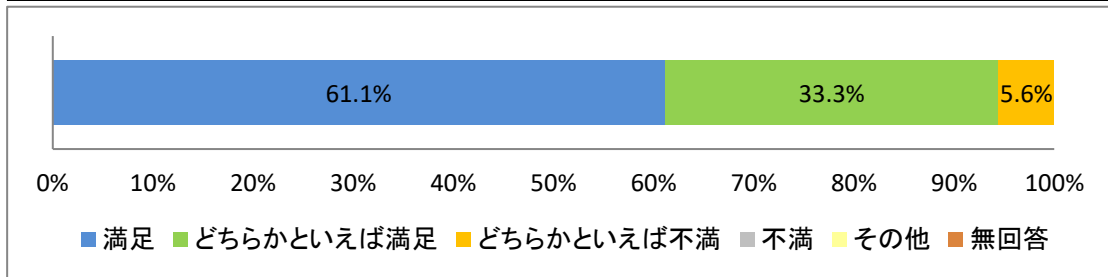
満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
8	16	6	6	0	0



日常の保育内容

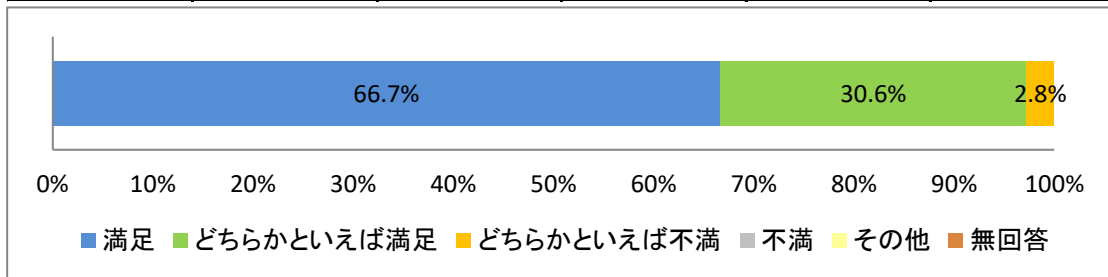
問4-1 クラスの活動や遊びについては  
(お子さんが満足しているかなど)

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
22	12	2	0	0	0



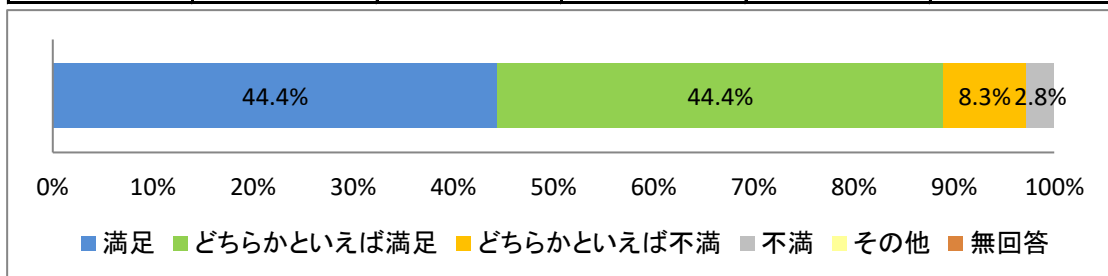
問4-2 子どもが戸外遊びを十分しているかについては

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
24	11	1	0	0	0



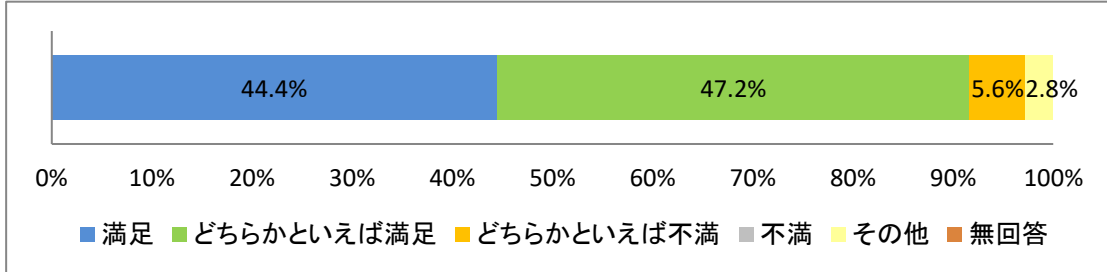
問4-3 園のおもちゃや教材については  
(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
16	16	3	1	0	0



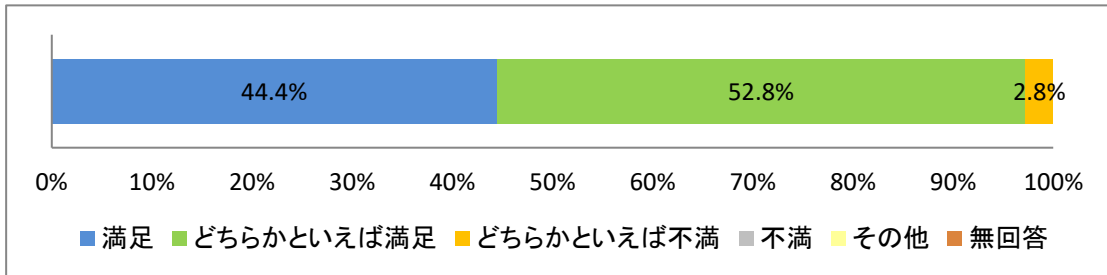
問4-4 自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
16	17	2	0	1	0



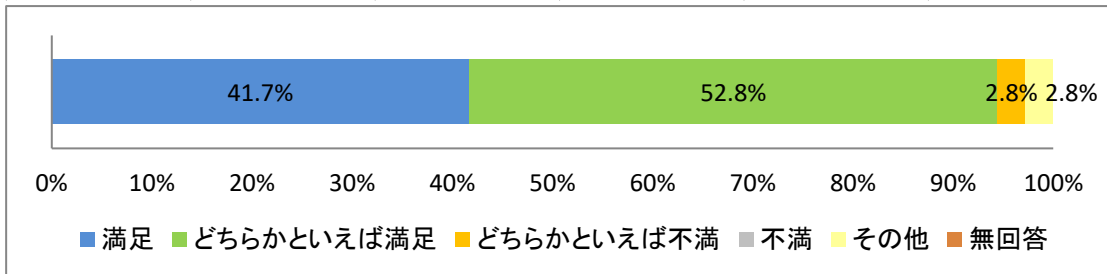
問4-5 遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
16	19	1	0	0	0



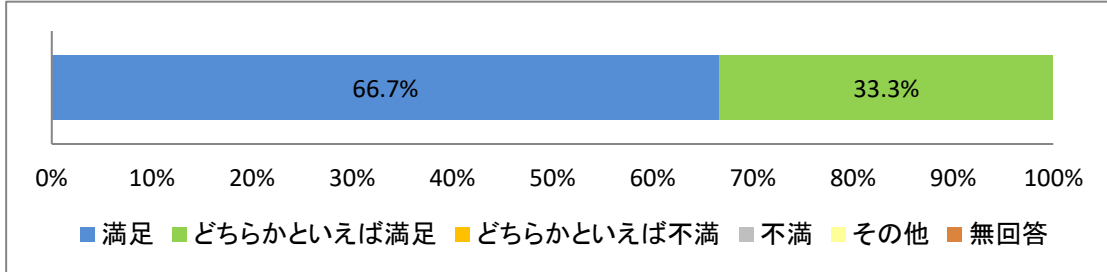
問4-6 遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
15	19	1	0	1	0



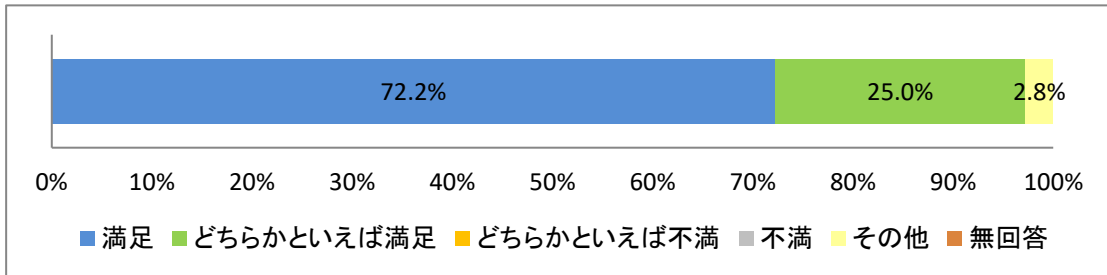
問4-7 給食の献立内容については

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
24	12	0	0	0	0



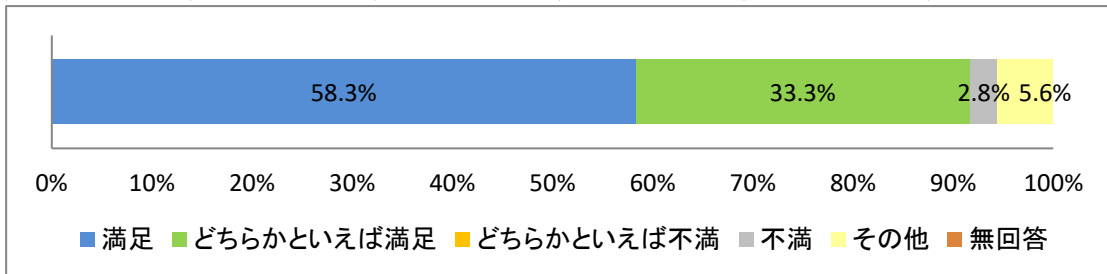
問4-8 お子さんが給食を楽しんでいるかについては

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
26	9	0	0	1	0



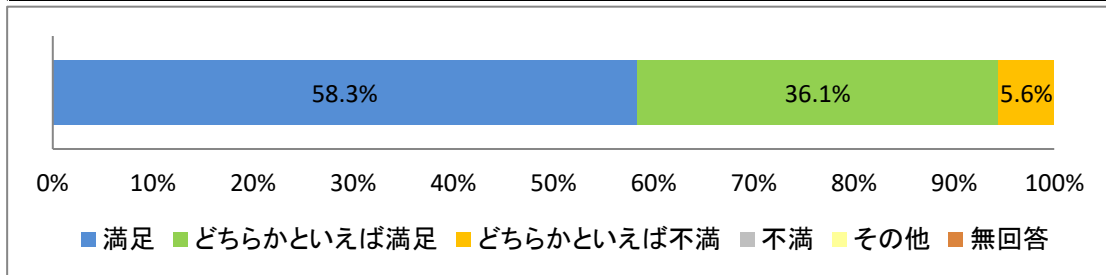
問4-9 基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
21	12	0	1	2	0



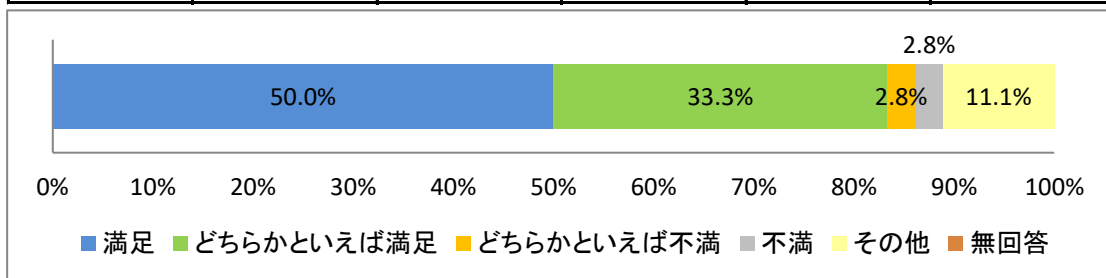
問4-10 昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
21	13	2	0	0	0



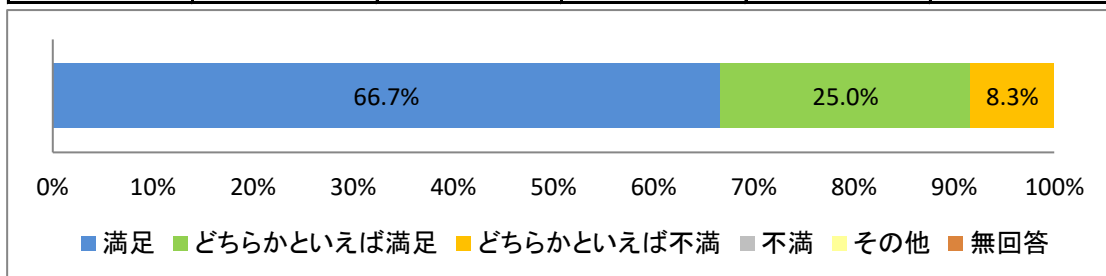
問4-11 おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
18	12	1	1	4	0



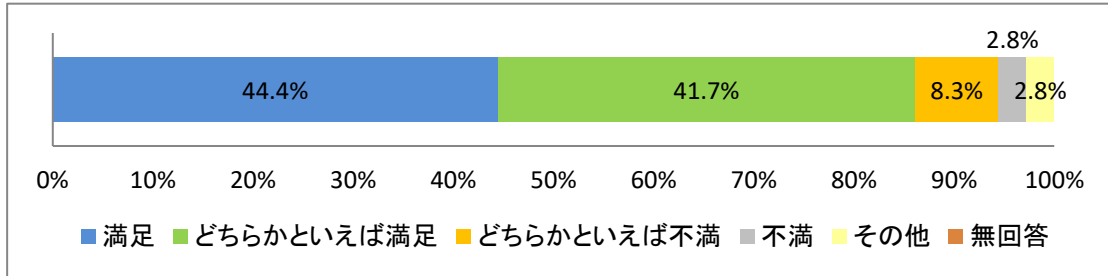
問4-12 お子さんの体調への気配りについては

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
24	9	3	0	0	0



問4-13 保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
16	15	3	1	1	0

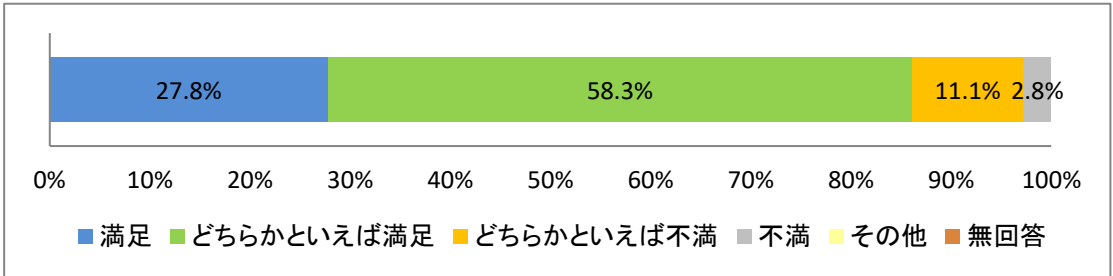




快適さや安全対策

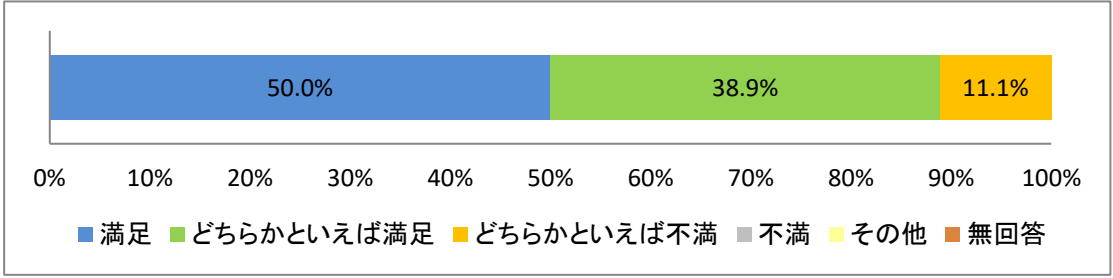
問5-1 施設設備については

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
10	21	4	1	0	0



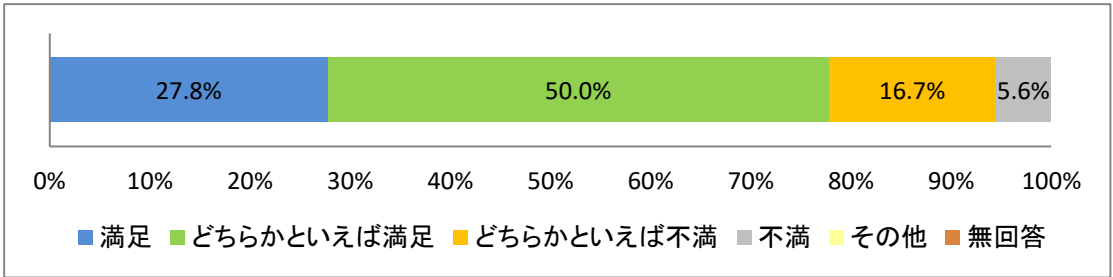
問5-2 お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
18	14	4	0	0	0



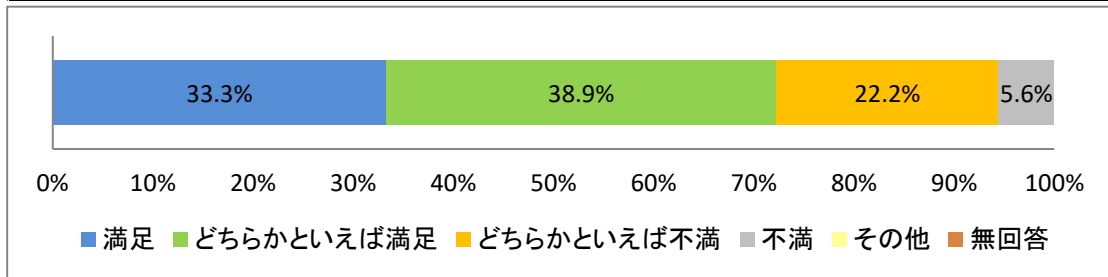
問5-3 外部からの不審者侵入を防ぐ対策については

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
10	18	6	2	0	0



問5-4 感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については

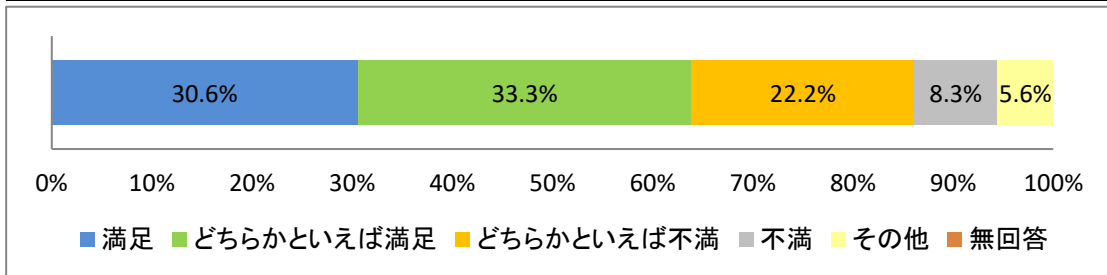
満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
12	14	8	2	0	0



園と保護者との連携・交流

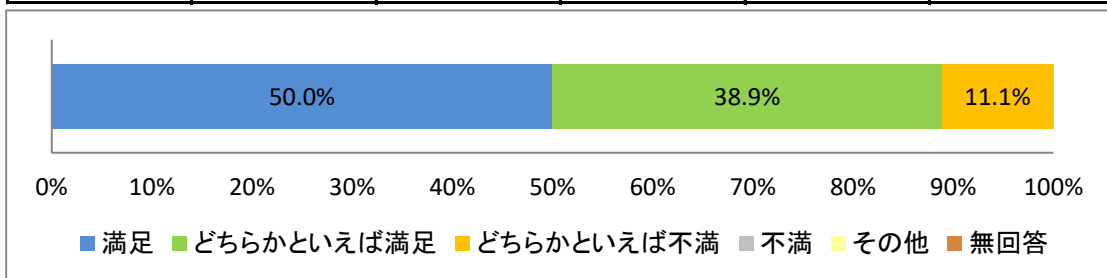
問6-1 保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
11	12	8	3	2	0



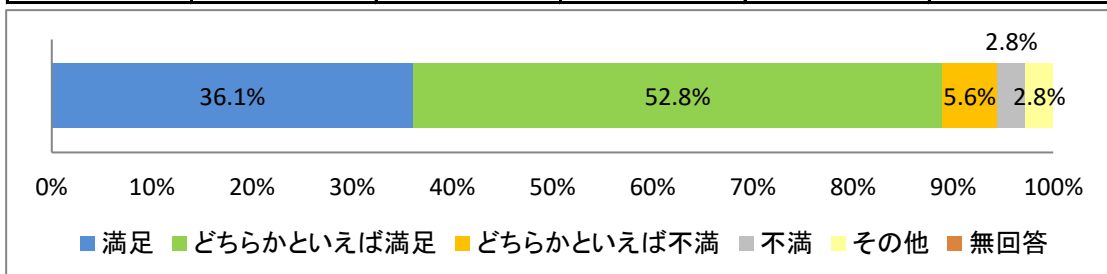
問6-2 園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
18	14	4	0	0	0



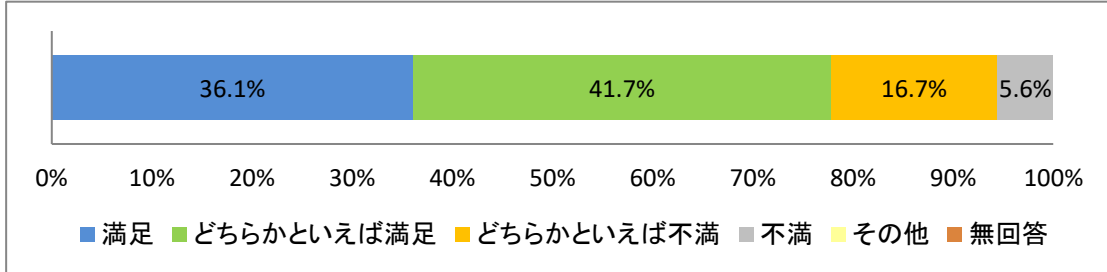
問6-3 園の行事の開催日や時間帯への配慮については

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
13	19	2	1	1	0



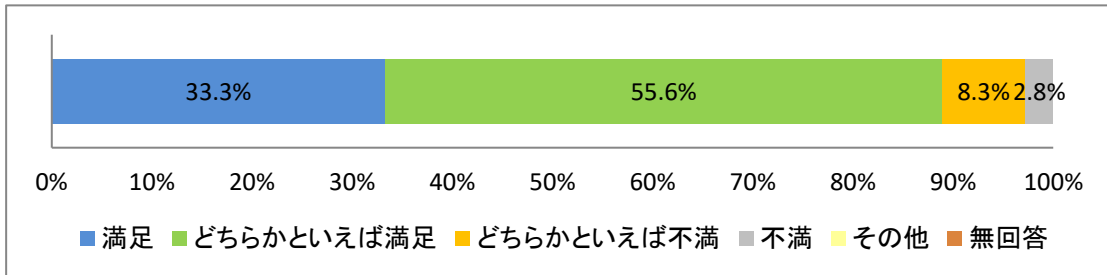
問6-4 送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
13	15	6	2	0	0



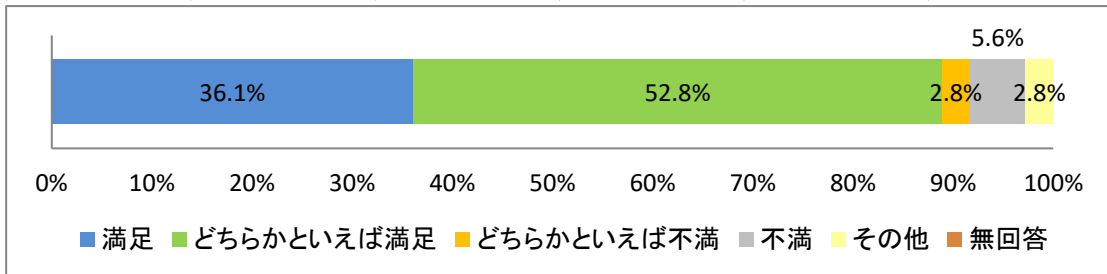
問6-5 お子さんに関する重要な情報の連絡体制については

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
12	20	3	1	0	0



問6-6 保護者からの相談事への対応には

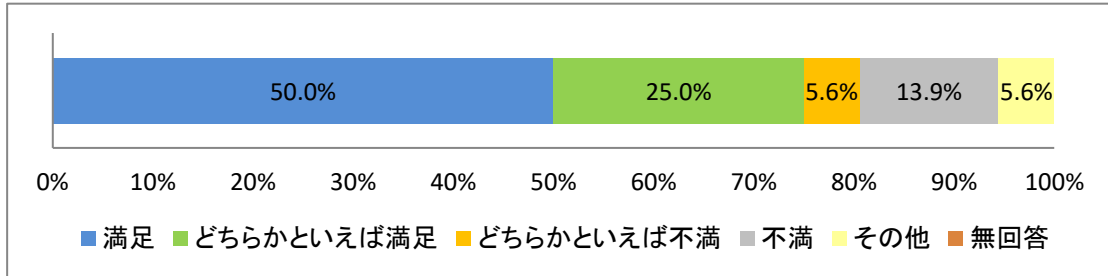
満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
13	19	1	2	1	0



問6-7

開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応については

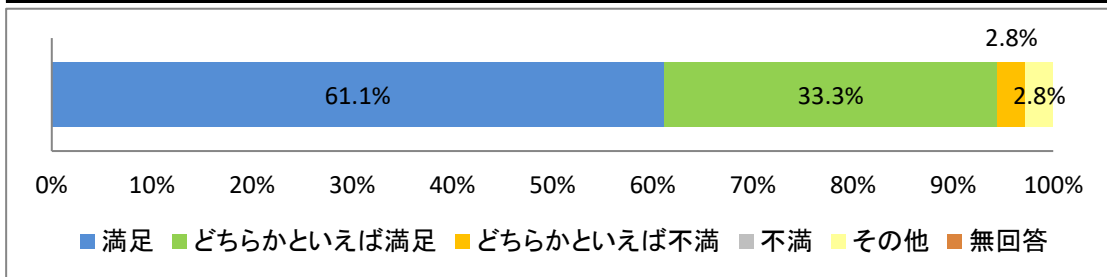
満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
18	9	2	5	2	0



職員の対応

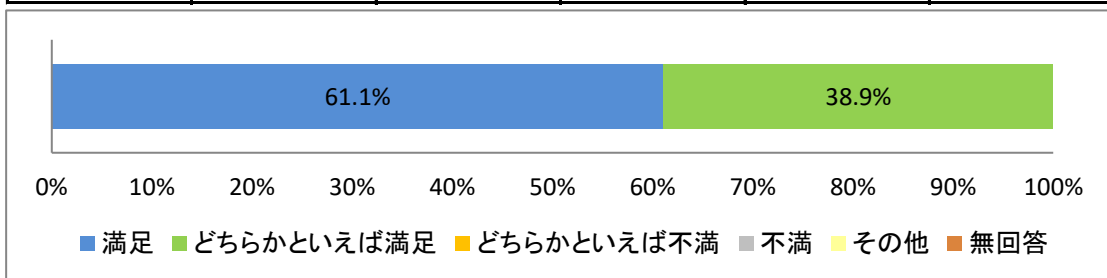
問7-1 あなたのお子さんが大切にされているかについては

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
22	12	1	0	1	0



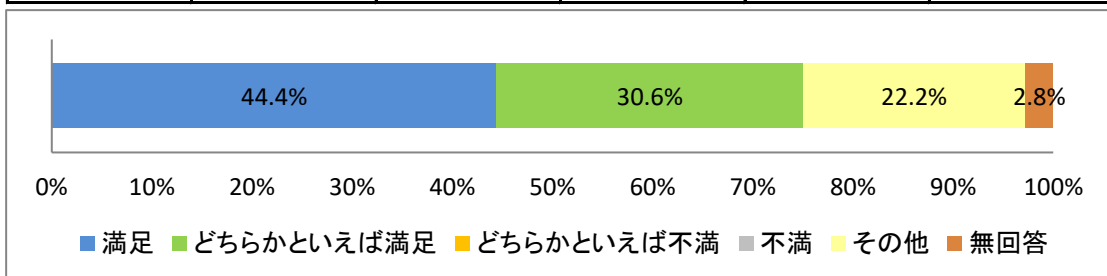
問7-2 あなたのお子さんが大切にされているかについては

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
22	14	0	0	0	0



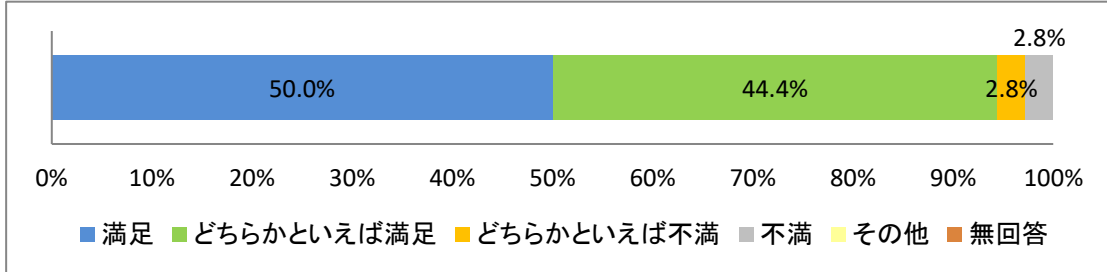
問7-3 アレルギーのあるお子さんや障がいのあるお子さんへの配慮については

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
16	11	0	0	8	1



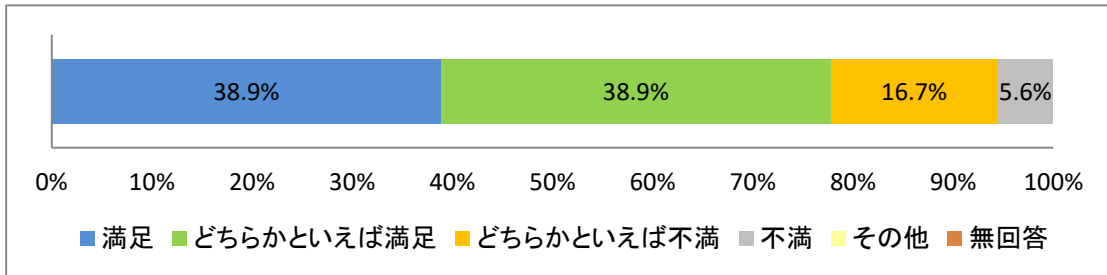
問7-4 話やすい雰囲気、態度であるかどうかについては

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
18	16	1	1	0	0



問7-5 意見や要望への対応については

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
14	14	6	2	0	0



満足度

問8 総合満足度は

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
16	16	4	0	0	0

